

1

公開サイトへの SSH 接続と、テストサイトへの SSH 接続を切り替える方法について

1 つの秘密鍵、公開鍵で SSH 接続する際にポート番号を切り替えるだけで、公開サイトとテストサイトへの接続を切り替えることができます。SSH のユーザー名と接続先のサーバー名は変更せず、ポート番号のみ変更してください。

公開サイトへの SSH 接続と、テストサイトへの SSH 接続を切り替える方法

・公開サイトへ接続する場合のコマンド

```
$ ssh -p 公開サイトの SSH ポート番号 -l fa999xxxxx fa999.secure.ne.jp
```

・テストサイトへ接続する場合のコマンド

```
$ ssh -p テストサイトの SSH ポート番号 -l fa999xxxxx fa999.secure.ne.jp
```

2

複数のサーバーへ SSH 接続する場合

お客さまがご利用されるお手元の PC 内に CHM-1Z のコントロールパネルで生成した秘密鍵を複数保管する場合、秘密鍵の名称や保管ディレクトリを変更する必要があります。

ここでは、Mac OS X を例にして、1 台の PC にて複数の秘密鍵を利用する方法を説明します。

手順 1 秘密鍵を作成する

【サーバーA】	【サーバーB】
サーバーA のウェブコントロールパネルにて、鍵ペアを作成する。秘密鍵ファイル名 server-a。パスワードを設定するかは任意です。	サーバーB のウェブコントロールパネルにて、鍵ペアを作成する。秘密鍵ファイル名 server-b。パスワードを設定するかは任意です。
ローカル PC に ~/.ssh/server-a というディレクトリを作成する。	ローカル PC に ~/.ssh/server-b というディレクトリを作成する。
作成した秘密鍵ファイル (server-a) を、 ~/.ssh/server-a のディレクトリ内に移動する。	作成した秘密鍵ファイル (server-b) を、 ~/.ssh/server-b のディレクトリ内に移動する。
~/.ssh/server-a/server-a のパーミッションを 600 にする。	~/.ssh/server-a/server-b のパーミッションを 600 にする。

手順 2 config ファイルを作成する

~/ .ssh/ ディレクトリに config という名称のファイルを作成します。

~/ .ssh/config ファイルを開いて以下のように記述します。

(ファイルの記述例)

Host server-a

User fa999XXXXX

Port ポート番号 ←公開サイト、またはテストサイトの SSH ポート番号を指定してください。

HostName fa999.secure.ne.jp

TCPKeepAlive yes

identitiesonly yes

identityfile ~/.ssh/server-a/server-a

Host server-b

User fa999XXXXX

Port ポート番号 ←公開サイト、またはテストサイトの SSH ポート番号を指定してください。

HostName fa999.secure.ne.jp

TCPKeepAlive yes

identitiesonly yes

identityfile ~/.ssh/server-b/server-b

~/ .ssh/config ファイルを保存して、パーミッションを 600 にする。

手順 3 Mac OS X のターミナルを使って SSH 接続を開始する

【サーバーA】に SSH 接続するためのコマンド

```
$ ssh server-a
```

この後、秘密鍵にパスフレーズを設定していた場合は、入力ダイアログが表示されるので パスフレーズを入力すると、~/ .ssh/config ファイルに記述した server-a のサーバーに SSH 接続されます。

【サーバーB】に SSH 接続するためのコマンド

```
$ ssh server-b
```

この後、秘密鍵にパスフレーズを設定していた場合は、入力ダイアログが表示されるので パスフレーズを入力すると、~/ .ssh/config ファイルに記述した server-b のサーバーに SSH 接続されます。